

「庄原市果樹振興協議会総会」を開催

【平成 29 年6月7日掲載】

庄原市果樹振興協議会（会長：宮本昭夫（みやもとあきお））では、このほど平成 28 年度総会を開催し、平成 29 年度の事業計画及び予算計画が承認されました。

当協議会は庄原地域果樹園芸組合（宮本昭夫（みやもとてるお）組合長，組合員 7 名），西城町西条柿生産振興協議会（加藤進（かとうすすむ）会長，組合員 8 名），西城果樹園芸組合（黒田光幸（くろだみつゆき）組合長，組合員 4 名），小奴可りんご生産組合（佐々木貴臣（ささきたかおみ）組合長，組合員 10 名），高野町果樹園芸組合（長妻章司（ながつましょうじ）組合長，組合員 18 名）の 5 団体で組織し、庄原市全体の果樹振興に向けて事業を推進しています。

今年度も昨年度に引き続き、指導所を中心に梨・りんごの生育調査や果樹に被害を及ぼすカメムシの調査を実施し、併せて果樹産地構造改革計画に基づき、果樹経営支援対策事業により有望品種への改植を進めていくこととしました。

また、昨年度、高野町果樹園芸組合では後継者の育成やリンゴ栽培技術の普及を目的に、下高地区で「りんご塾」を開催していますが、この塾には地域内外からの塾生も参加しており、今年度も昨年と同様に研修を行うこととし、より一層の果樹振興を進めていくことが決議されました。



【通常総会の様子】

情報提供元

北部農業技術指導所